# スポーツ活動

| | | |
|---|---|---|
| 概　要 | | さまざまなスポーツ活動に取り組ませることを通して、体を動かす楽しさを味わわせるとともに、仲間と協力する態度や、ルールを守って活動する姿勢を育ませる。 |
| ねらいとして<br>考えられること | | ① ルールやマナーを守りながらスポーツを楽しむことを通して、仲間との親睦を深めることができる。<br>② 班やチームの仲間と協力し、互いに助け合いながら活動することを通して、よりよい人間関係を築くことができる。<br>③ スポーツ活動を通して体力を高めるとともに、粘り強く取り組むことで忍耐力を養うことができる。 |
| 対　象 | | 幼児から |
| 人　数 | | 団体で設定 |
| 場　所 | | プレイホール、レクリエーション室、スポーツグラウンド、キャンプ場グラウンド等 |
| 時　間 | | 適宜 |
| 指導員 | | 自主活動 |
| 活動時期 | | 通年 |
| 経　費 | | なし |
| 事前に準備確認するもの | | 帽子、飲料水、タオル、救急用具、時計等 |
| 引率者の役割 | 活動前 | ① 所員と活動の所要時間や使用場所について確認する。<br>② 参加者にトイレを済ませるよう指示する。<br>③ 活動開始５分前までに所定の場所に整列させ、人員点呼を行う。<br>④ 活動内容や注意事項について説明する。<br>⑤ 参加者を活動場所へ移動させる。 |
| | 活動中 | ① 参加者が楽しみながら活動し、互いに協力できているかを観察する。<br>② 屋外で活動する場合は、スズメバチやマムシなどの危険な生物に十分注意させる。 |
| | 活動後 | ① 所定の場所に整列させ、人員点呼を行う。<br>② 貸出用具がある場合は回収する。<br>③ 活動を振り返らせる。 |
| 安全上の留意点 | | ① けがや事故に備え、事前に緊急時の連絡体制や対応方法を確認しておく。<br>② 団体内で対応が困難なけがが発生した場合は、速やかに所員へ連絡する。 |
| その他 | | 【プレイホール】<br>・バレーボール　２面　　・バスケットボール　２面　・バドミントン　２面<br><br>【レクリエーション室】<br>・卓球　３台　　・ペタンク　４セット　　・モルック　４セット |

| | |
|---|---|
| | 【屋外】<br>・グラウンド　３面<br><br>※ グラウンドは３面あるが、いずれも野球やサッカーを行うには十分な広さがない。<br>※ 活動場所や使用する用具については、事前に所員と確認・調整する。 |